

国際ロータリー 第2500地区 第4分区  
**遠軽ロータリークラブ**  
THE ROTARY CLUB OF ENGARU, AREA 4.RID2500

### 第3020回例会記録

日時：2022年 3月31日(木)12:30～

会場：ホテルサンシャイン 2F

司会：前島 英樹 SAA

★開会点鐘：本間 克明 会長

★国歌：ー

★Rソング：奉仕の理想

★四つのテスト：ー



奉仕しよう  
みんなの人生を豊かにするために

## 2021~2022 Weekly Report No.27

4月 7日 会員卓話  
メディア委員会  
加藤 幸徳 君  
(木)12:30～

### 本日のプログラム

ゲスト卓話  
遠軽町教育委員会 中南 秀隆 様

4月 14日  
(木)12:30

### 次回のプログラム

**本間克明会長ターゲット：奉仕活動を通して地域の明るい未来に繋げよう**



### 会長報告 本間 克明 会長②

皆さん、こんにちは。

本日のプログラムはゲスト卓話です。北海道家庭学校の校長であります清澤満様にお越しをいただいております。本日は、よろしくお願いたします。

全国では桜が咲き始め、東京方面では既に満開を迎えるなど、春めいてきております。道内では3月から4月にかけて高めの気温が見込まれ、桜の開花が5日ほど早まるようです。

さて、本日は北海道家庭学校にちなんだ桜の話を紹介したいと思います。

会議所の前佐々木会長からお聴きした話です。

種苗業を営む佐々木産業が関わっています。半世紀以上も前のこと、先々代の社長である昌太郎様が道内の桜の木の老木化を危惧して、桜の苗木育成に着手します。種の入手が課題でしたが、風雪に耐えうる立派な桜を育てたいということで、家庭学校に桜の種をお願いし快く提供いただいたそうです。桜の苗が順調に育ちだした頃、歴史が動き「日中国交正常化」となります。今から50年前のことです。国交正常化を記念して、中国からの贈り物は「パンダ」、日本からの贈り物は、道産の「桜」と「カラマツ」の苗木に決まり、苗木は佐々木産業が提供することになりました。中国に渡った苗木は、北京市や瀋陽市などで植えられ、日中友好の証として大切に育てられました。

中国に苗が渡ってから20数年が経過したころ、遠軽町開基100年を機に、遠軽町の有志が北京市に友好訪問することとなり、北京の天壇公園に咲いている家庭学校ゆかりの友好の桜を見て感動されたとのこと。有志の方は、桜の枝を持ち帰ることができたそうです。持ち帰った桜の枝から芽を培養し、苗の育成に成功。開基100年事業の一環として、太陽の丘の一角に、「国際友好の森」が造られ、そこに培養の苗が植樹されました。里帰りした桜は見事に成長し、毎春、花を咲かせています。この桜は「おかえり桜」と呼ばれているそうです。

日中両国に美しく咲き誇る桜、その桜は家庭学校ゆかりの桜でありました。

### 幹事報告 高橋 義詔 幹事③

- 4月の例会プログラム予定
    - 7日 加藤会員による会員卓話
    - 14日 教育委員会 中南様によるゲスト卓話
    - 21日 夜間例会
    - 28日 クラブフォーラム：地区研修・協議会報告
  - 遠軽町芸術文化交流プラザ「メトロプラザ」へディスプレイ寄贈を4月14日予定。希望者の内覧予定。
  - ウクライナへの緊急支援について理事会で10万円の支出を決定、適時、災害救援基金へ寄付します。
- \*3月29日、会長②と地区からの奨学金目録を北光学園堤園長④に渡しました。

### 委員会報告

- ◇遠藤 利秀 社会奉仕委員長  
4月6日(水)10時より「春の全国交通安全運動に係る遠軽町街頭啓発」が遠軽警察署前で実施、多数の参加を。
- ◇遠藤 利秀 ロータリー情報委員長  
4月21日(木)16時30分より、入会3年未満の会員を対象としたオリエンテーションを当ホテル・パールの間で開催、対象者の参加をお願いします。
- ◇乾 淳 次年度幹事  
4月10日(日)、旭川開催の地区研修・協議会の出席者へ行程表等の資料を配布済、ご確認をお願いします。

### SAA 前島 英樹 SAA

地区RLI(ロータリーリーダーシップ研究会)受贈終了バッジを高井一博会員⑤へ会長②が授与します。

### 本日のプログラム ゲスト卓話

遠藤 利秀 社会奉仕委員長

本日は年度末で大変ご多用中、当クラブとは何かとご縁があります、社会福祉法人北海道家庭学校清澤満校長先生①にお越しいただき、北海道家庭学校の歴史や現状等についてお話をさせていただきます。【2面へ】

【名前後の○数字は写真の中の番号】

## 社会的養護と家庭学校の子供たち

社会福祉法人 北海道家庭学校校長 清澤 満 様①

皆さんもよくご存知かと思いますが、第5代の谷昌恒校長が機関誌「ひとむれ」の中で家庭学校のこと、それから入所してくる子どもたちの気持ちをその文章の中に表しています。

「…人は未来を案じています。目には見えない将来です。人はまた他者の心をはかりかねて、苦しんでいます。母親が自分を愛しているか、父親が信じてくれているか、先生が認めてくれているか。」こういった気持ちを持ちながら、家庭学校に来る子どもたちは日々、すごく卒にはまった日課を過ごしています。

毎月5日は、家庭学校を作った留岡幸助が亡くなったのが2月5日ということで、月命日に家庭学校にある平和山に朝6時から子供たちと職員一緒になって登山をします。

私達が住んでいるところは、全部で439ヘクタール、東京ドームの93個分、札幌ドームは広いから81個分もあるという、非常に広い敷地です。

その一角に子どもたちが生活する寮舎とか、作業部屋とか、3年前に始めたバター・チーズ工房もここにあり。また、礼拝堂(写真)があります。

家庭学校の名前が付けられたのは、感化法が1900年に成立したが、その1年前、東京に留岡幸助が家庭学校というのを作っています。

幸助は、家庭学校に来る子供たちは、しっかりした家庭、しっかりした教育を受けていないということで、本当にストレートな家庭学校という名前を明治の時代につけています。幸助が残した言葉があります。

「三能主義」…これは少年たちの生活の基本；よく働いて、よく食べて、よく眠る、と本能的なところも含めて三能主義というものを唱えました。全国の同じ教護院にこの考え方が広まり、全国の施設作りの指針みたいなものともなっています。

そして「難有」。これは「ありがとう」ですが、「困難を乗り越えたときに感謝の気持ちを生み出すんだよ」ということを礼拝堂で子どもたちによくお話をされていたようです。

本館前にある幸助の胸像の碑には「一路白頭に到る」、これは一つのことを成し遂げるためには時間と努力が必要なんだ、やっていたらいつの間にか白髪になったという、意味です。

社会的養護については、保護者の適切な養育を受けられない子どもを、公的責任で社会的に保護養護するとともに、養育に困難を抱える家庭への支援を行うもので、家庭学校も社会的養護の担い手の一つです。

児童自立支援施設は全国58の内、北海道家庭学校と横浜家庭学園は民間の設置です。

施設の特色ですが、私達は広大な土地で開放処遇でやっており、文字通り「子どもたちの生活は、敷地内



でほぼ完結する」こととなっています。

また、生活・学習・作業が指導の3本柱ですが、本校の場合は自然に恵まれた広い敷地があるので、そのフィールドを活用した作業指導に力を入れています。

虐待経験を持った子どもが、3月21日現在、16名中8割13名が親から何らかの虐待を受けた経験を持っています。そして子どもの特性として、発達障害がある、あるいはそういう疑いがあるといった子どもが16名中15名。誤解のないように申し上げますが、発達障害がある子が問題行動を起こすということでは決してありません。

なぜ家庭学校に来るのか。それは、子どもの問題行動や生活課題の背景には、「少年は加害者である前に被害者だった」ということがあります。

そして、怒られてばかりなので認められたことがない、学校ではいじめに遭いやすい、若しくはいじめの側に入るかもしれません。そういった学校での不適応。また、地域では居場所がない、等々があります。

家庭学校という自立支援施設の一つの特徴として、子供たち同士で感化し合うというのがあります。

それが感化院という名称の所以だと思います。

厳しい生活ばかりだと、大変なので行事を沢山やります。ここ2～3年コロナがあって、行事に外からのお客様をほとんどお呼びできていませんが、一緒に楽しむという行事も組ませて戴いています。秋には各寮の出し物、それからお客様にもお店を出して戴いて園遊会をやっています。

私どもの家庭学校に後援会があり、ロータリークラブさんの中にも沢山会員がおられると思います。会長を大西社長さんに受けていただいております、いくつも団体で入って下さっており、この場をお借りしてお礼を申し上げます。

### ニコニコ BOX 大西 孝弘 親睦活動委員長

山田 荘一君 誕生日 5,000円

島田 光隆君 遠軽商工会議所副会頭就任 10,000円

2020-21年度合計454,000円

☆閉会点鐘：本間克明会長☆今月会報：西 清治委員

2021-22\_27th-03

出席報告	例会日	会員数	出席計算 会員数	出席者数	メイク アップ	出席率	無断欠席	編集・発行：メディア委員会	
	須藤 順一 出席委員長	3月24日	41	38	30	2	84.2%		委員長：東海林勉
	3月31日	41	38	30		79.0%		委員：上田 稔	佐藤直也 西 清治 加藤幸徳 本前信之

2021-2022年度 国際ロータリー

会長：シェカール・メータ(インド)

第2500地区ガバナー 漆崎 隆(釧路ベイRC)

第4分区分ガバナー補佐 中津 一夫(滝上RC)

遠軽ロータリークラブ www.engaru-rc.com

会長：本間克明 副会長：黒坂貴行

会長エレクト：高井一博 幹事：高橋義昭

会計：上田 稔 SAA：前島英樹

直前会長：島田光隆 事務局員：岡本奈津美

◇1959年9月12日創立/1959年11月7日認証

【事務局】〒099-0415 北海道紋別郡遠軽町若見通南2丁目 遠軽商工会議所内

Tel 0158-42-5201 Fax 42-5134 E-mail: info@engaru-rc.com

【例会場/日】北海道紋別郡遠軽町大通北1丁目 ホテルサンシャイン Tel 0158-

42-1151 毎週木曜日12:30～13:30 \*第3木曜日は夜間例会 18:00～(19:00)

